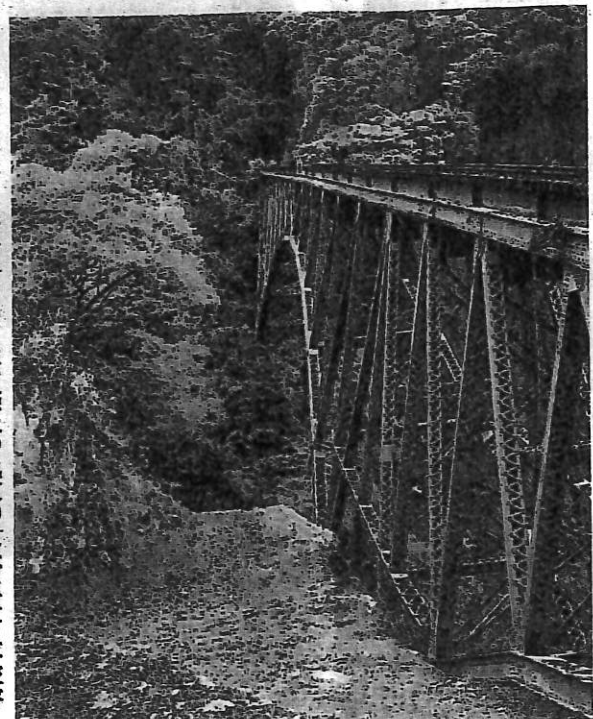


# 鉄道・運輸機構 被災鉄道路線の支援事業

鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、地震などの災害による被害を受けた鉄道路線の復旧を支援している。2016年の熊本地震で被災した南阿蘇鉄道についても、第一白川橋りょう（立野―長陽間）の架け替えについて、必要な部材強度や性能が確保された設計となっているか、現地条件に適した設計かどうかを確認する照査業務などを行っている。

## 第一白川架け替え照査業務など



架け替えられる第一白川橋りょう  
＝立野―長陽間＝

# 南阿蘇鉄道の復旧支援

同地震で被災した南阿蘇については、盛土や軌道のなど大きな被害を受け、蘇鉄道は、同年7月に中松―高森間（7・2km）野―長陽間ではトンネルで運転を再開。残る立野―深谷に架かる橋りょう3本の鋼製のアーチ橋りょう（中松間（10・5km）に）の移動・変形、斜面崩壊である第一白川橋りょう

は、基礎部の移動や上部工（鋼製）部材の変形、破断などが見られることから架け替えが決まり、これに伴う設計が必要となった。同機構では18年度から現地調査や打ち合わせ、図面確認などを行い、昨年末に照査業務を終了。現在、現地では架け替えに向け、既存橋りょうの撤去に向けた準備工事が始まっている。架け替えに当たっては、工場で架け替え用の新しい橋りょうを製作して現地で架設する計画で、同機構では開までの復旧工事を受託。仙台東港鉄道には技術者を派遣し、工事の施工管理など、早期復旧に向けた技術支援を行った。

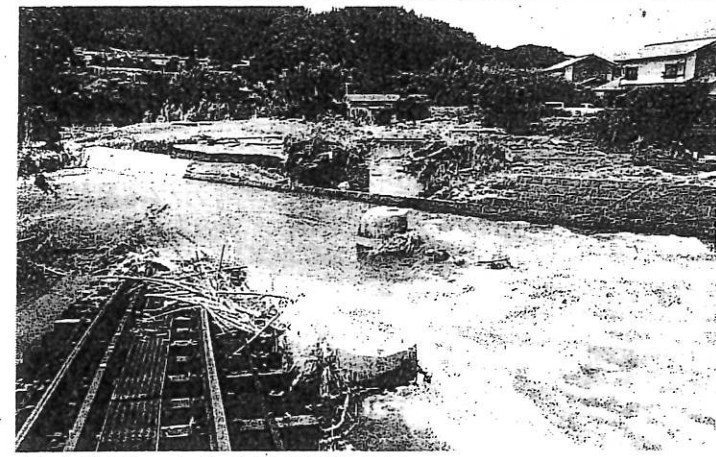
## 九州2路線 復旧困難

### JR 豪雨で橋梁流失

（20.7.15）

JR九州は13日、豪雨による鉄道の被災状況について、福岡県久留米市と大分市を結ぶ久大線など2路線の一部区間で復旧の見通しが立っていないと発表

しました。橋梁（きょうりょう）の流失や土砂の流入などが発生している。復旧にはかなり



豪雨で流失した久大線の豊後中村―野矢間にある橋梁（きょうりょう）  
＝大分県九重町（JR九州提供）

の時間を要する」（前川聡幸常務）との見方を示し、被害総額は「現時点で未定」としています。同社によると、特に被害を受けたのは、久大線のほか、熊本県八代市と鹿児島県霧島市を結ぶ肥薩線。2路線で計三つの橋梁が流失し、線路への土砂流入なども多数発生しました。

久大線の日田―向之原、肥薩線の八代―真幸の間で復旧の見通しが立っていません。今回の豪雨による被災件数は12日時点で、17路線345件に達します。雨が降り続いた3日からの8日間を計20路線4550本が運休し、約19万人に影響が出たといま